

平成 29 年度までの後期基本計画がスタート

I 参画と協働によるまちづくり

- 年度間における達成状況や成果に基づく検証・評価結果を公表し、市民の参画と協働を促します。
- 情報の公開と共有を図り、市民の参画と協働による計画の実効性を高めます。
- 市民、各種団体、NPO、企業などとの連携・協働・役割分担を明確にします。

II 経営的視点を取り入れたまちづくり

- 前期基本計画の進捗状況や施策・事務事業の評価、成果などを十分検証し、これらを踏まえた上でさらに新たな視点を持って後期基本計画期間中の計画推進を図ります。
- 進行管理と評価を有機的に連動させた計画の活用により、各施策で掲げた主な目標の着実な達成を図ります。
- 厳しい財政状況を踏まえつつも、活力ある本市の実現に向けた市政運営を展開するため、社会情勢などに柔軟に対応しながら成果を重視した視点の中で施策・事業の「選択と集中」を図ります。



30 ゾーン 30

区域 最高速度を時速 30km に規制

自動車事故を防止するため、生活道路が密集する区域での最高速度を時速 30km に規制する「ゾーン 30」を整備します。

平成 25 年度は、北野・大原・上福岡 1 丁目区域(右図)がゾーン 30 の規制がかかります。

また、鶴ヶ舞と桜ヶ丘の周辺区域の 2ヶ所についても、平成 26 年度以降、順次整備を進めます。



高畑ひろし後援会

〒 356-0004 ふじみ野市上福岡 1 - 11 - 2

電話 263-0386 FAX 263-0306

高畑ひろしホームページ <http://h-takahata.jp/>

※この市政報告は、高畑ひろしの活動報告であり、ふじみ野市の公式発表ではありません。



討議資料

ふじみ野市政報告

ふじみ野市長

たか はた

高畑ひろし



平成 25 年 4 月発行 高畑ひろし後援会 <http://h-takahata.jp/>

平成 25 年度予算約 350 億円が成立

平成 25 年度の一般会計の予算規模は、349 億 5,498 万 6 千円で前年度当初予算と比較して、金額で 17 億 4,882 万 9 千円の増額、増減率では 5.3%のプラスとなりました。



子どもたちの未来への投資

小中学校のエアコン設置

児童・生徒が夏の暑さに負けず、確かな学力を身に付けてもらうようエアコン設置に向けて設計を行います。来年夏までに全ての小中学校に設置します。

いじめ等対応支援員を配置

生徒の様子をより多くの目と場面で観察し、教職員などと連携を図り、いじめを未然に防止するため、全ての中学校に「いじめ等対応支援員」を配置します。

放課後児童クラブの建て替え

さぎの森放課後児童クラブを建て替えるとともに、元福放課後児童クラブを小学校の教室を改造して整備します。

西側地域初の児童センターは 8 月オープン

現在建設中の大井総合支所の 3 階が児童センターになります。夏休み期間中のオープンに向けて整備が進みます。

保育所の耐震補強工事に着手

耐震調査の結果を受け、滝保育所の耐震補強工事を実施します。他のすべての公立保育所についても現在、耐震調査中です。

小中学校の大規模改造工事を 4 校で実施

引き続き、鶴ヶ丘小学校と大井西中学校の大規模改造工事を行うほか、亀久保小学校と三角小学校の工事が 2 か年計画で始まります。

上福岡駅東口の暫定整備が完了

上福岡駅東口の駅前広場整備

暫定整備に続き、土地の有効利用や歩行者の安全な動線の確保を考え、川越駅のようなペDESTリアンデッキによる整備手法も視野に本整備へ向けた基本計画を策定します。



学校給食センターの建て替え事業

民間企業の投資を喚起し、行政側の財政負担の縮減を図るよう PFI 方式により、上福岡学校給食センターの建て替え事業を実施します。

多目的グラウンドを整備

旧大井清掃センターを解体して土壌の入れ替えなどの後、跡地の有効活用として多目的グラウンドを整備するための設計を行います。

総合支所の 8 月オープンに合わせて連絡バスを運行

市民の利便性を向上させるため、支所と本庁間を結ぶ連絡バスを運行します。また、新たに市民相談窓口を設置して市民サービスの向上に努めます。



雨水関連事業

上福岡五丁目地区 12.4 ヘクタールの浸水被害を解消するため、雨水浸透施設の整備を行います。また、大井武蔵野地区の浸水被害を解消するための雨水対策設計を行います。

本庁舎の整備工事

既存庁舎の耐震補強工事と増築棟を建設します。増築棟は平成 25 年度中に着工します。本庁舎整備の基本方針は、①いつ発生してもおかしくない災害に備えた迅速な整備②庁舎の集約化③災害時に防災の要となる整備④市民に利用しやすい環境づくり⑤経費を抑制し、財政負担を軽減することです。



【本庁舎建築概要】

- ・既存庁舎 地上 5F 地下 1F RC 造 延床面積 約 5,000㎡
- ・増築庁舎 地上 3F RC 造 延床面積 約 2,800㎡

新たに広域ごみ処理施設を建設

環境への負荷軽減を図る循環型社会の構築に向けて、三芳町との広域連携による新たなごみ処理施設として、熱回収施設やリサイクルセンター等の整備を図ります。

引き続き「災害に強いまちづくり」へ

自主防災組織の組織率 100% 実現へ

平成 23 年度末に町会・自治会の自主防災組織の組織率は 72.2% でしたが、24 年度末に 94.4%、平成 25 年度には 100% 達成を目指しています。

防災無線管理運営事業

合併前の周波数の異なるシステムを暫定統合して運用している防災無線の統合化及び公共施設間の無線通信網の整備を行います。

災害時要援護者避難支援事業

災害発生時に高齢者や障がい者で自力で避難できない人を地域全体で支援し、安全確保を図ります。

第 2 回総合防災訓練を実施

昨年 12 月に実施した初の総合防災訓練は、市民約 6 千人、関係機関約 1 千人が参加しました。今年度は、8 月 25 日に実施します。

備蓄のためペットボトルを製品化

災害発生時に必要な施設、機材、備品等の整備と管理を実施し、万一の際の市民生活の安全を図ります。飲料水の備蓄と市の PR を兼ね、地下水を活用してペットボトルを製品化します。

市民相談体制の充実

市民の利便性の確保やサービスの地域間格差の解消のため、支所での相談サポート体制を新たに整備します。また、相談スキルの向上や DV 相談体制の強化のため専門相談員が常駐します。

生活保護適正化推進員の配置

生活保護制度の運用にあたり、警察との連携協力体制を強化し、生活保護費支給の適正化を図り、不正受給を防止するため、警察官 OB を配置します。



第 1 回総合防災訓練の様子



「市民憩いの森」を整備

大井図書館前にある聖路加国際病院所有の土地をお借りできる見通しとなりました。3 月に同病院に伺い、あの著名な日野原先生にお会いし、改めてお願いしてまいりました。豊かな自然の中で市民が自然に親しみながら異世代間のコミュニケーションの場を創出するとともに、地域コミュニティの活性化も図られることも併せ持った場として「(仮称)市民憩いの森」として整備します。